

〈町の建設救援隊(マチケン)〉 ～倒壊建物からの救助訓練～

災害時には地域の一助に

産業対策委員長 小林紀久夫



小林さん(五反田)

前の訓練の様子を映像で視聴して記憶を呼び起こし、その後、藤原仕事対策部長より疑似倒壊建物の組立ての説明を受け、安全確認をして準備に取

地元建設四組合共闘で組織している「町の建設救援隊(マチケン)」の、倒壊建物からの救助訓練について、3年ぶりの実施に向けて、当初は9月25日(日)を予定しておりましたが、台風による大雨が予想されたため延期をし、10月9日(日)に34名の参加で行ないました。



倒壊建物の屋根部分からの救助訓練の様子

りかかりました。訓練は、①倒壊建物を

い、参加者から意見を出し合って終了しました。災害はいつ来るかわかりませんが、訓練を通して自分自身や家族、地域

#STOP!インボイス 支部学習会

【学習制度化委員会発】

10月26日(水)、大崎南部労働会館にて、講師にSTOP!インボイス運動の中心メンバーでもある、佐伯和雅税理士を迎え、「インボイス制度と税額への影響を中心に」と題した学習会を69名の参加で開催しました。

佐伯税理士より「インボイス制度の内容」「発注元・下請け業者、それぞれの立場での影響」「インボイス制度が始まることでの懸念」等について話がされ、まとめとして、私たちが「今」やるべきこととして、周知不足によって実施が延長



佐伯税理士



真剣な眼差しで聴き入る

品川の塚

品川浦 鯨塚

品川分會 鈴木 康司

時を遡ること1798年(寛永10年)品川沖に迷いこんで、浅瀬にで動かない鯨を漁師らが捕まえました。鯨の体長は、長さ16m余り高さ2mも有る大鯨で、江戸中の評判となり、ついには十一代將軍家が浜御殿(現、浜離宮恩師庭園)で上覧するという騒ぎになりました。



唯一東京で現存する「鯨塚」

いっぴく



登山の代わりに

二葉分會

中山 勝利

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、山登りも行けなくなり、また、近年の豪雨災害によって、登山道の崩壊により、登山道の通行止めもあり、今も修復不可能な登山道が多くあります。

山登りに行けなくなり、今は、山のDVDを観たり、図書館で山の本を借



りたりしていますが、やはり実際に登った時の感動が感じられません。あまり山のDVDばかり観ている私に妻が、見るに見かねて、「どこか近郊の日帰りの温泉にでも行かないか」と言ってくれました。



主婦の会副会長 村越 千秋



主婦の会 「ミニハイク」 東京スカイツリー

10月22日(日)、主婦の会では3年ぶりとなるミ



真下が見える「ガラス床」

ニハイクを22名の参加で実施。行き先は、開業10周年を迎えた「東京スカイツリー」でした。エレベーターに乗り込み、わずか1分で地上350mの天望デッキに着。さらにエレベーターを乗り継いで、地上450mの天望回廊まで上がりました。

品川浦は、江戸に近いと言ふ事で、漁業や海苔づくりがより盛んになり、將軍様にも献上していました。私の家は、祖父の代までは、品川浦で漁師をしておりました。埋め立てが進んだ現在、海はすっかり遠くなりましたが、かつて海は、品川の人々



その⑧